



スタンプでデザインしたエコバッグ  
(こどもホスピスプロジェクト)

# 和

第32号 (平成26年春号)

編集：大阪市立総合医療センター 地域医療推進小委員会  
(〒534-0021 大阪市都島区都島本通2-13-22)  
<http://www.byouin.city.osaka.lg.jp/ocgh/>



## 大阪市立総合医療センター

### 3Hの理念

Heart For Public Service

広く市民に信頼され、地域に貢献する公立病院をめざす。

Humane

人間味あふれる暖かな医療を実践する病院をめざす。

High-technology

高度な専門医療を提供し、優れた医療人を育成する病院をめざす。

### ～ 掲載内容 ～

- コメディカルのお仕事紹介「理学療法士」
- 疾患解説シリーズ「心房細動について」
- がんの診療について「肺がんの外科治療」  
「当センターが取り扱うがんの種類」
- 診療科のご案内「女性総合外来」について
- チーム医療の活動紹介  
「子どもサポートチーム」
- 就労支援はじめました
- 健康豆知識
- 患者満足度調査の結果をご報告いたします
- 病院ボランティアの活動紹介
- 市民医学講座のご案内

## ■ コメディカルのお仕事紹介「理学療法士」

理学療法は、病気やケガ、加齢、障害などにより運動機能が低下した人々に対して、運動機能の維持・改善を目的として、運動、温熱、電気、水、光線などを用いて行われる治療です。理学療法の目的は運動機能の回復ですが、最終的には日常生活活動の改善を図り、生活の質の向上をめざすことです。

当センターのリハビリテーション科では、急性期の患者さんを対象とすることが多く、病状が不安定な時期であるため、病態の急変への対応など、専門医の指示に基づいたリスク管理を行いながら慎重に治療を行っています。

現在、総合医療センターには12名の理学療法士が在籍しており、整形外科、救命救急センター、脳神経外科、小児医療センター、神経内科、呼吸器内科、循環器内科、緩和医療科など多くの科から依頼を受け柔軟に対応しています。理学療法を行う場所は1階の機能回復訓練室のほか、半数以上の依頼患者さんに対して、入院中の病棟での治療を行っています。

また、チーム医療の一員として、ICU病棟での回診、対象患者さんの多い診療科における合同カンファレンス、呼吸サポートチーム(RST)や転倒・転落防止チームの回診に参加するなど、他職種のスタッフとの協働・連携に努めています。さらに、平成25年度からは転倒・転落に対する予防対策や、松葉杖の調整と指導などにも取り組んでいます。

今後も、私たち理学療法士は「その人らしい生活」を実現するために、単なる身体機能の回復だけではなく、患者さんの心の支えになれるように努力していきたいと思っております。



## ■ 疾患解説シリーズ

### 心房細動について

大阪市立総合医療センター 循環器内科 占野 賢司

#### ◆心房細動とは

心房細動は、図1のように心房内で1分間に350~600回の不規則な電気信号が発生し心房全体が小刻みに震え、心房の正しい収縮と拡張ができなくなる不整脈で、加齢とともに増加し70歳を超えると3~5%の割合で見られます。心房細動で困ることの主なものは2つあります。

1つは、心房細動では安静にしている時でも不自然に脈拍が速くなることが多く(頻脈)、しかも脈拍のペースがバラバラであるため、**動悸、胸の不快感、ふらつき、全身倦怠感**などの症状が起こることです。また、このような症状がみられなくても、心房収縮がなくなることで、心臓から出る血液量が約20%減少するため、**息切れやめまい、胸苦しさ**などの症状を起こすこともあります。(図2参照)

もう1つは、**血栓塞栓症(脳梗塞)**です。心房細動が持続すると心房内の血液の流れがよどみ、血栓(血液の塊)ができやすくなります。特に左房でできた血栓が脳の主要な血管(脳動脈)を閉塞すると**脳梗塞**を引き起こしてしまいます。心房細動をそのまま放置した場合、5%の患者さんが脳梗塞になることが知られています。(図3参照)

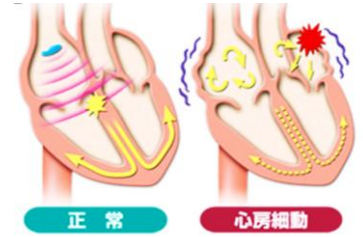


図1



図2

#### ◆心房細動の治療

心房細動に対する治療は2つにわけられます。

1つ目は**脳梗塞を予防するための薬物治療**です。

これは心臓の中に血栓ができないように行われる治療で、抗凝固療法といえます。

2つ目は**心房細動という不整脈そのものに対する治療**です。

**薬物治療とカテーテルアブレーション**があります。

**薬物治療**は不整脈の発生を薬で抑えたり、不整脈の脈拍数を落としたりする治療法です。

**カテーテルアブレーション**はカテーテルを用いた手術です。

**根治を目的**として行います。状態にもよりますが、発作性心房細動であれば8割~9割の患者さんが1~2回の手術で根治でき、不整脈に対する薬の中止が可能となります。

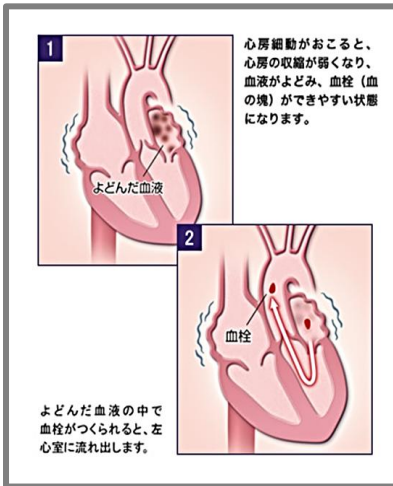


図3

#### ※心房細動に対するカテーテルアブレーションとは?

カテーテルアブレーションとは、心筋に接触させたカテーテルの先端に熱を発生させ、異常な部位を絶縁する(やけどを作る)という治療です。つまり、やけどした心筋は電気を流すことができなくなるので心臓の中の電気の流れを不整脈が起こらないように調節する治療ということになります。

心房細動という不整脈の原因の8割~9割は肺静脈という血管の中からおこる異常な電氣的興奮が原因であることがわかっています。そのため、左心房につながっている肺静脈の付け根の周りを、肺静脈を囲むように焼灼します。図4に示した上下肺静脈を同時に隔離する方法を行います。焼灼した箇所は電気が通らなくなるので、肺静脈が電氣的に心臓と切り離され(電氣的肺静脈隔離)、肺静脈の中で異常な興奮が起こっても、心臓の中に伝わらず、心房細動が起こらなくなるという原理です。手術には3~4時間かかりますので、しんどくないように麻酔で眠ってもらった上で行います。

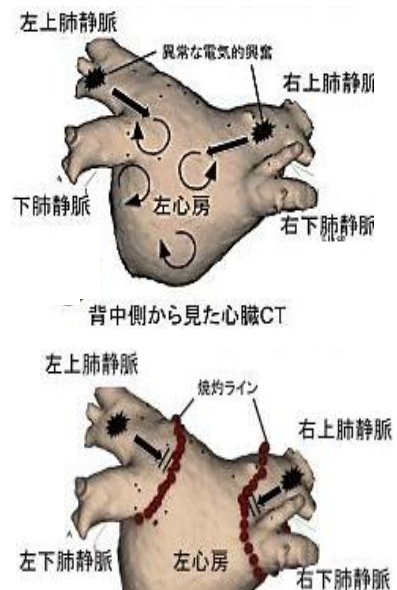


図4



## ■ がんの診療について

### 肺がんの外科治療

大阪市立総合医療センター 呼吸器外科部長 山本 良二

肺がんは“肺から発生したがん（原発性肺癌）”のことで、他の臓器のがんが肺に転移した“転移性肺がん”とは区別されます。現在、日本での死亡原因のトップは「悪性腫瘍（がん）」であり、その中で肺がんは男性では1位、女性でも2位となっています。治療法には手術で肺がんを切除する外科療法、抗がん剤を使用する化学療法、放射線照射を行う放射線療法がありますが、ここでは肺がんの外科治療について説明します。

肺がんの治療方法は、がんの種類（外科療法が主体の“非小細胞肺がん”と化学療法と放射線療法が主体の“小細胞肺がん”という種類に大きくわかれます）、大きさ、位置、広がり、患者さんの呼吸機能や健康状態などの多くの要因によって決まります。



肺には右に3つ、左に2つの袋（肺葉<sup>はいよう</sup>といいます）があり、手術では原則として一つの肺葉と周囲のリンパ節を切除します。肺がんの広がり、位置によっては、片肺を全部切除する事もあります。反対に肺がんが小さいときや、体力や肺機能が不十分な場合は、区域切除や部分切除などの切除範囲を縮小した手術を行います。従来は背中から斜めに20～30cmの皮膚を切開して手術を行っていました（左の写真）。

しかし、最近では「胸腔鏡手術」といって、ビデオカメラで胸の中をのぞきながら（右写真の上）、5cm程度の小さい傷で手術ができるようになってきました（右写真の下）。このことにより、体の負担はかなり軽くなりました。手術後の痛みが少なく回復が早いので、早期退院が可能です。ただ、全員がこの方法で手術出来るわけではなく、がんの大きさ、位置などから安全性を考慮して手術方法を選択します。心臓や大動脈、大静脈、気管、食道など胸の中の重要な臓器にまでがんが広がっている場合は、一般的には手術適応外とされます。しかし、リンパ節に転移がない場合には積極的に手術を行うこともあります。技術的に困難であるため、当センターのように人材と設備が整った施設でしか行えませんし、患者さん自身にも安全に手術ができるだけの体力が必要で、誰に対してでもできるという手術ではありません。



手術を行うにあたっては、安全で確実に取り切れるという条件が必要です。まれには手術による合併症で生命に危険が及ぶこともあり得ます。このためその適応には慎重でなくてはなりません。同時に手術ができる機会を逃す事も避けなければなりません。当センターでは、上述した手術はすべて日常の医療として行っており、経験豊富な医師が担当しています。



### 当センターが取り扱うがんの種類

肺がん／乳がん／胃がん／大腸がん／食道がん／肝がん／胆嚢がん・胆管がん／膵がん／前立腺がん／膀胱がん腎がん／尿路がん／精巣がん／血液腫瘍（白血病、リンパ腫など）／子宮がん／卵巣がん／脳腫瘍／骨軟部腫瘍／頭頸部がん／小児がん／皮膚がん／原発不明がん／性腺外胚細胞腫瘍／眼腫瘍

## ■ 診療科のご案内

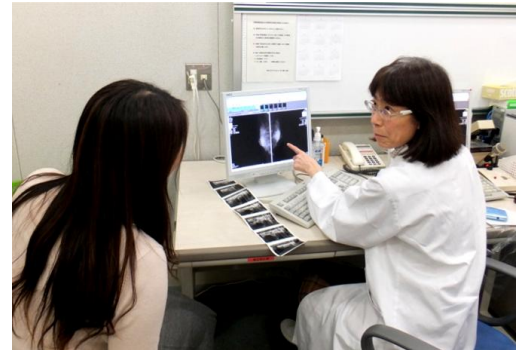
### 「女性総合外来」について

大阪市立総合医療センター 総合診療科 栗山 敦子

もともとは1980年頃に米国で、疾患により発症率や病態に大きな男女差があると認識された性差医療がはじまりですが、日本で2001年から各地に開設された「女性外来」では、男性医師に自分の症状やつらさを理解してもらえないと感じた患者さんや、体調が思わしくないが病気なのかどうかわからない、病気だと思うがどの科を受診すればよいのかわからない、すでに受診したが体調が回復しないなどの患者さんの診療が中心になっています。当センターでは2002年から「女性外来」を開設しております。

「女性総合外来（更年期等女性外来）」では、上記のようなどのような訴えの方でも受け入れています。更年期障害と思われる方も診療いたします。ただし、担当医は婦人科医ではありませんので、症状によっては婦人科へご紹介することもあります。患者さんのお話にしっかり耳を傾けながら診療していますので、ずっと健康でこれまで病気とは無縁だった方、病院へいくのが不安な方などにも受診していただきたいと思います。

「女性総合外来（乳腺）」では、患者さんの乳房に関するさまざまな不安に対応いたします。乳がん検診は、市町村の住民検診や人間ドックなどの検診の機会がふえてきました。女性の乳腺専門医もずいぶんふえています。しかし、時間的制約により、結果の説明は文書による通知のみで終わり、がんではなくても自覚症状として多い乳房痛の原因や対処方法は教えてもらえなかった、良性と診断されたが放置してよいのか、など不安をかかえたままの女性も少なくないようです。もちろん、自分でしこりに気づいて乳がんを疑っている方でも、年齢にかかわらず初めての乳房検査をためらうのは自然なことです。「もし、がんと診断されたら…」とおそろしいかもしれませんが、乳がんは比較的治しやすい病気で、早くみつけるほど治療を受けるのも楽です。当外来は、予約制で十分な時間をとり、担当女性医師が視触診と超音波エコー検査（ほとんど痛みはありません）、必要に応じて女性の技師がマンモグラフィ撮影をいたしますので、不安をかかえたままに放置せず、ぜひ受診なさってください。検査の結果、強く乳がんが疑われたときには、当センターを含めて乳腺外科へ精密検査のためにご紹介いたします。



「女性総合外来」の診察風景



完全予約制となっております。ご予約はお電話でお取りください。  
 受付時間：午後1時～午後4時（土・日・祝日及び12/29～1/3を除く）  
 専用電話：06-5929-3779

女性総合外来 （更年期等女性外来）	第2金曜日 午後1時30分～4時
女性総合外来（乳腺）	第3金曜日 午後1時30分～3時

※ 都合により診察日が変更となることがあります

## ■ チーム医療の活動紹介「子どもサポートチーム」

子どもサポートチームは、平成23年に発足し専門性をもつ多職種が集まって活動しているチームです。

多職種の主なメンバーは、小児緩和ケア医、児童青年精神科医、緩和ケア認定看護師、臨床心理士、ホスピタル・プレイ・スペシャリスト、医療ソーシャルワーカー（MSW）、在宅支援担当看護師などです。外来や病棟には、子どもサポートチームと連携する看護師（リンクナース）がいます。

子どもサポートチームは、子どもとご家族が安心して治療が受けられことを目的とし、それぞれの専門職が力を合わせて、主治医や外来・病棟の看護師、保育士と協力しながら活動しています。

ご家族の希望や、主治医・看護師からの依頼で活動しており、昨年度は、約150例関わりました。

具体的には、小児緩和ケア医・緩和ケア認定看護師による治療や病気による痛み、吐き気などのつらい症状の緩和、児童青年精神科医、臨床心理士による子どもやご家族のストレスが軽減できるような心理的なサポートを行っています。

外来受診時や入院中に、検査や治療が行われることがありますが、子どもたちにはつらく、怖いでき事となることもあります。そのため、検査や処置の時には、ホスピタル・プレイ・スペシャリストと一緒にこころの準備を行い、できるだけ恐怖や不安などの苦痛を和らげるお手伝いをしています。

また、医療ソーシャルワーカー、在宅支援担当看護師による退院後の生活に関する支援も行っています。例えば、医療費や制度に関するご紹介や、必要な介護物品の準備、調整を行っています。復園、復学支援として、退院前には関係する方々に病院まで来てもらい、カンファレンスを行い、保育園、幼稚園、学校へ安心して通えるよう話し合い、退院後も自宅での生活が過ごしやすいようお手伝いをしています。

これからも、子どもたちやご家族にとって、身近な相談相手となれるように、それぞれのメンバーが協働し、チーム一丸となって活動していきたいと思います。

お困りの事がありましたら、主治医や看護師にお声をかけてください。



## 就労支援はじめました

専門家（産業カウンセラー）が、当センターのがん患者さんとそのご家族を対象として就労に関するアドバイスを行っています。

日 時：第2・4水曜日 13時～16時（予約制）

内 容：がん治療を受けながら、仕事を続けるためのアドバイス

お問合せ：1階総合医療相談窓口

（電話） 06-6929-1221（代）

がん専門相談員まで

※お仕事を探す窓口ではありません。





# 健康豆知識



## 『健康食品やサプリメントをかしく使おう』

### 健康食品って？

健康食品と言っても、様々なものがあります。国が有効性と安全性を審査して認められた『特定保健用食品（通称トクホ）』や審査はないが一定の基準を満たした場合に、決められた表示のみ行なえる『栄養機能食品』、そして世間に一番出回っている『いわゆる健康食品』があります。それらはどれも『食品』であって『薬』ではないため、“疾病が治る”などの表現を謳ってはいけないという決まり（薬事法）があります。

特定保健用食品

栄養機能食品

いわゆる健康食品

～健康食品・サプリメントを使用する時は医師、管理栄養士に相談しましょう～

### 健康食品は万能？

人間の体は口から入る食べ物で維持されています。食べ物には栄養があり、バランスが大切です。“バランスの良い食事”とは、栄養成分が過不足なく含まれた食事を言います。簡単に言うと主食、主菜、副菜がそろった食事です。食欲がなく、食事が思うようにとれない場合を除き、まずは普段の食事がきちんととれているか思い出してみてください。食事を抜いたりしていませんか？お菓子などで済ませたりしていませんか？土台となる食事をおろそかにしては、いくら健康食品をとっても健康にはなれないのです。

また、疾病のある方が健康食品を使用した場合、高濃度の栄養を体内でうまく処理出来ず、害を及ぼしてしまうこともあります。薬との併用では、薬の効き方が変わってしまうこともあり、特に注意が必要です。

まずは毎食、①主食②主菜③副菜をそろえた“バランスの良い食事”を心がけるようにしましょう。それでも足りない場合に健康食品を補助的に利用するのがかしくい使い方です。

### ★ 毎食、主食・主菜・副菜をバランスよく選んで食べましょう ★

 <p><b>主食</b></p> <p>ごはん、パン、めんなどの穀類、糖質エネルギーの供給源</p>	 <p><b>主菜</b></p> <p>肉、魚、卵、大豆製品などを使った料理。たんぱく質脂肪の供給源</p>	 <p><b>副菜</b></p> <p>主菜を補う野菜、海藻類を使った料理。ビタミン、ミネラル、食物せんいの供給源</p>
--	--	---

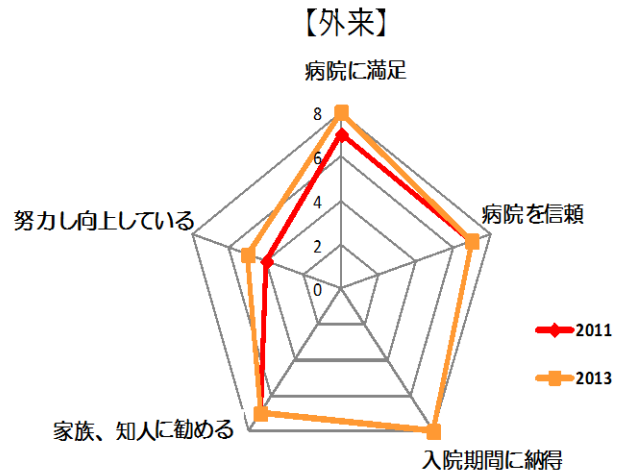
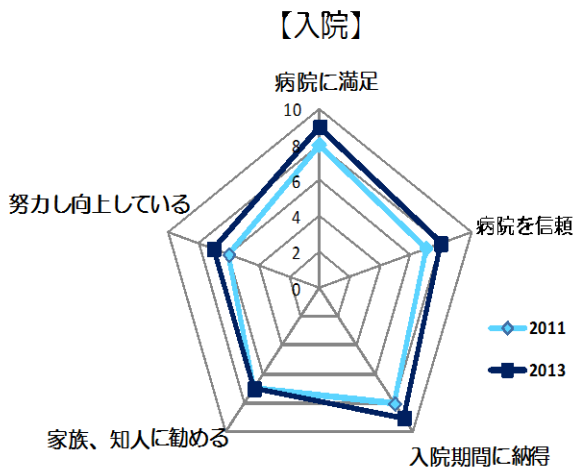
患者満足度調査の結果をご報告いたします（一部抜粋）

当院では平成25年7月に満足度調査を実施いたしました。  
ご協力をいただいた患者さん、ご家族の皆さんにお礼を申し上げます。

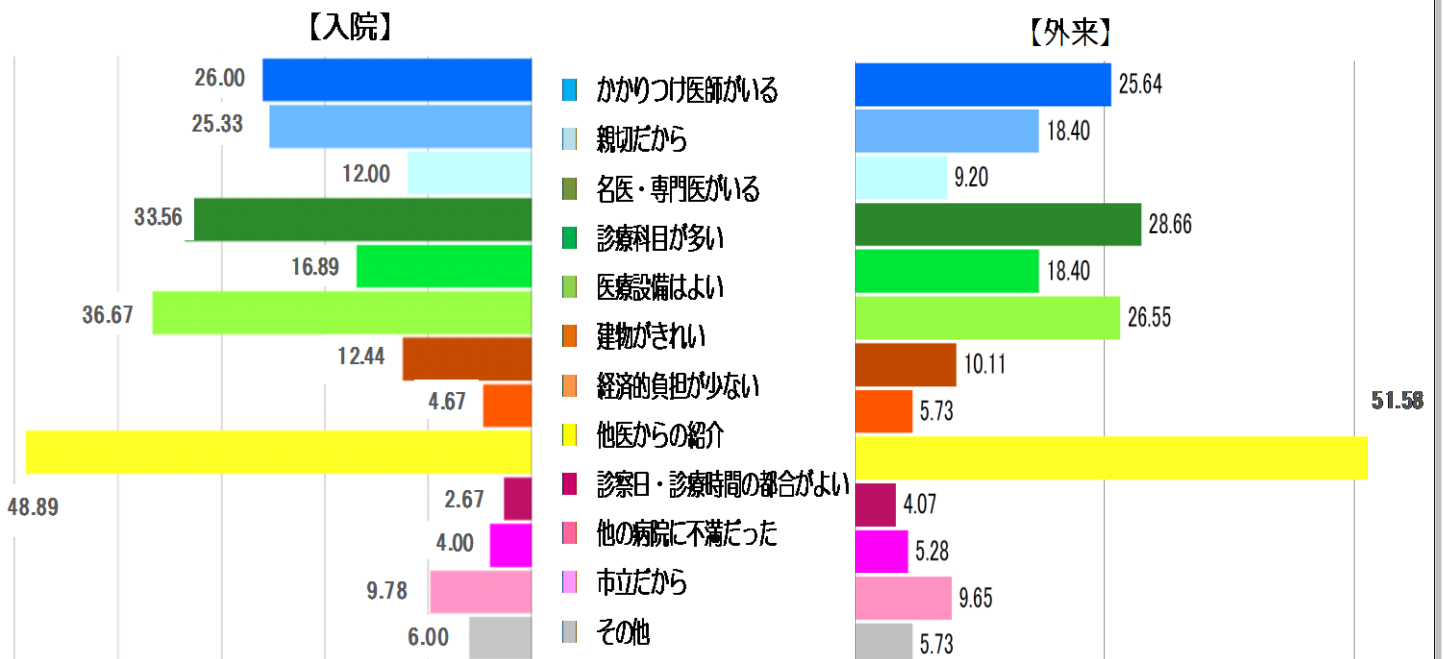
実施概要

〔入院〕平成25年7月1日～7月31日 回答数 483件〔外来〕平成25年7月3日・8日 回答数 777件

○病院全体の印象



○患者さんが当院を選択した理由（複数回答）



## 病院ボランティアの活動紹介

当センターでは患者さんの療養生活の質の向上のためにボランティア活動として、入院、外来を問わず、多種多様な活動を行っています。

外来では、身体や目の不自由な患者さんへの車いす等の介護、検査室や診察室の行き先が解らない患者さんのご案内、日本語が理解できない患者さんには、通訳（英語、中国語、韓国語）をしています。

入院患者さんには、デイルームでのミニコンサート（尺八、オカリナ、ギター演奏、ハーモニカ、ハンドベル、コーラスなど）

を毎月開催しており、一緒に歌う事で「元気になる」と好評です。また、小児病棟では、付き添いをされているお母さんにアロマセラピーやヨガを行っています。

その他、入院患者さんが患者図書室で借りた本を持ち運ぶ袋や携帯型心電図ケース（左の写真）などを作成したり、庭園のお花（パンジー、ガザニア、ペチュニア、ポーチュカラなど）の手入れをしています。



外来のボランティアさん



裁縫ボランティアさん作成  
携帯型心電図ケース



病棟での演奏会

## 平成 26 年度 大阪市立総合医療センター講演会開催予定

- ☆小児医療センター講演会
- ☆市民医学講座
- ☆市民公開糖尿病ゼミナール
- ☆市民医学講座
- ☆市民医学講座

- 平成 26 年 7 月 26 日(土)
- 平成 26 年 9 月 6 日(土)
- 平成 26 年 11 月 12 日(水)
- 平成 26 年 12 月 6 日(土)
- 平成 27 年 3 月 7 日(土)

